

解決、学力低下問題

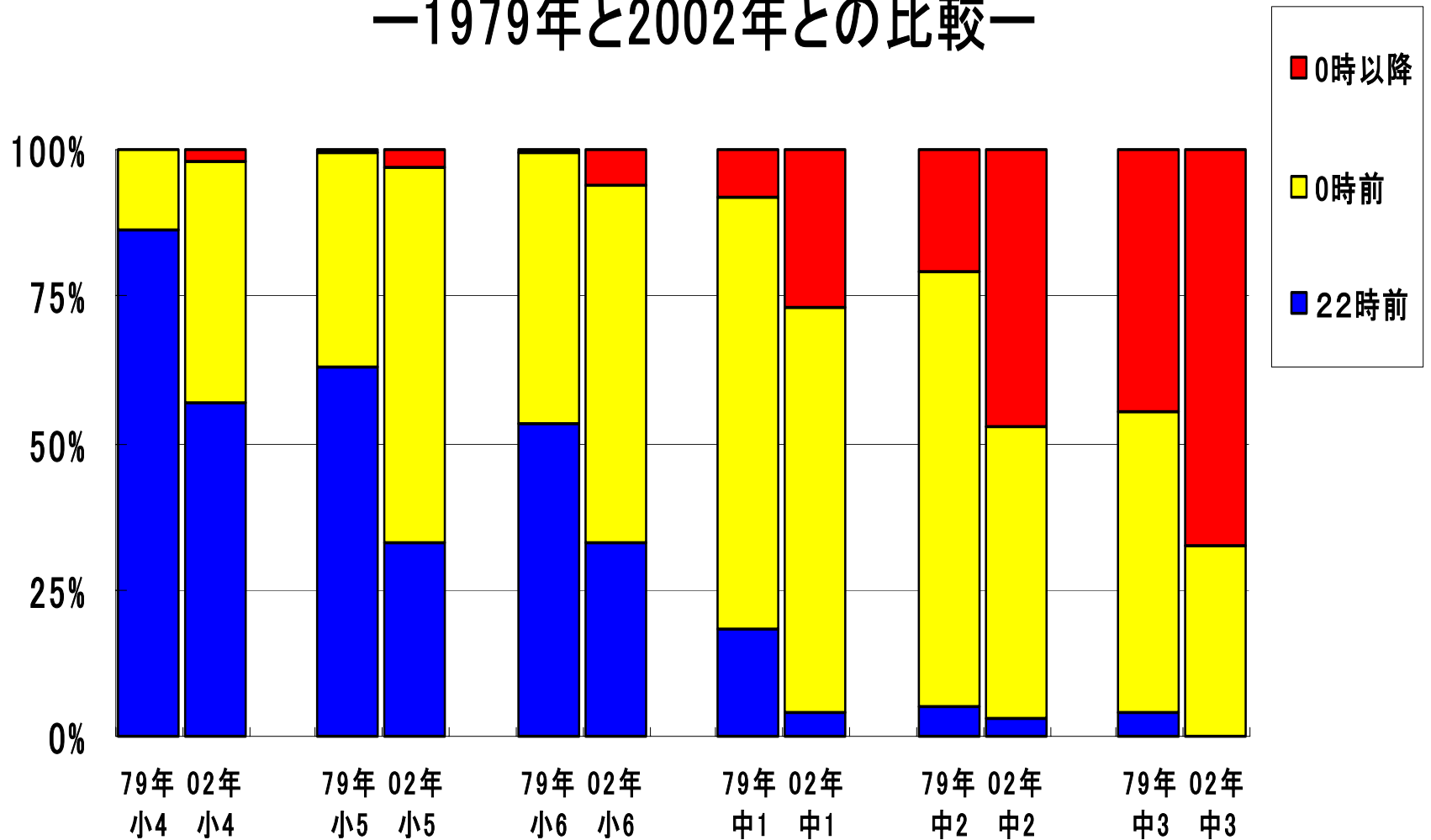
— 日本教師よ、胸を張ろう —

尾道市立土堂小学校
校長 陰山英男

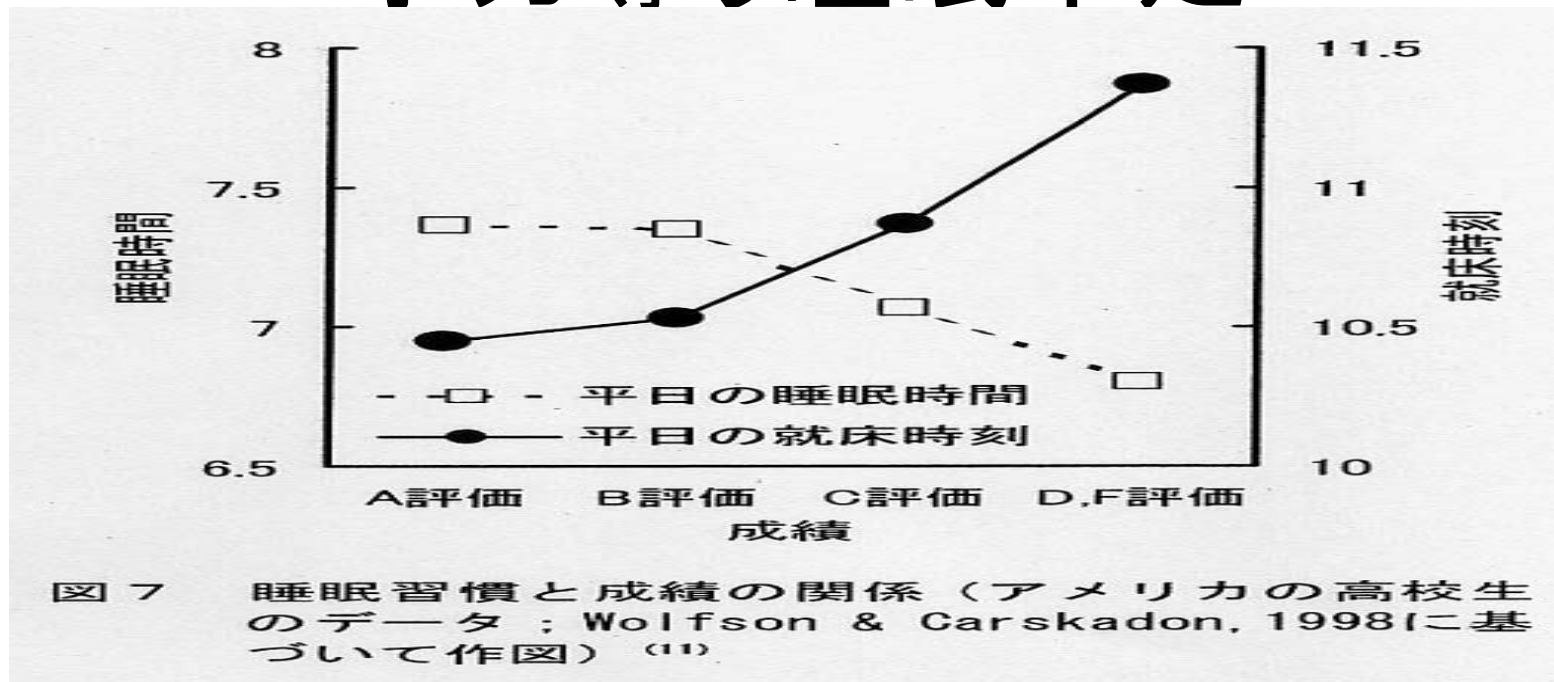
学力低下は、子どもの元気の喪失現象

- 睡眠不足
- 食事栄養の悪化
- 多忙による家庭団欒崩壊
- 競争原理と将来不安

小中学生の就床時刻の変化 —1979年と2002年との比較—



学力奪う睡眠不足



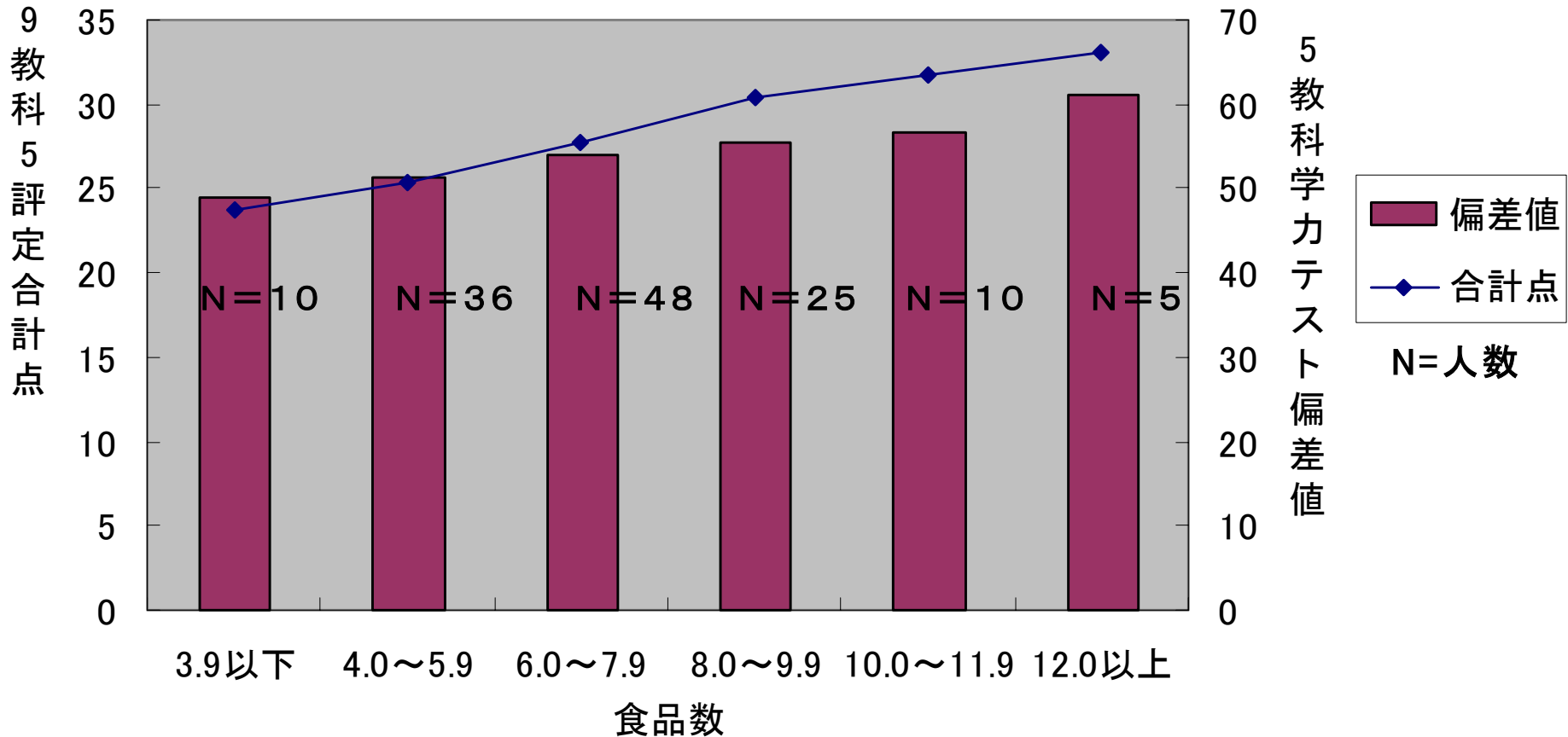
広島県の基礎基本調査の結果より

	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	9時間	以上
国語	52	62	66	70	71	70	65
算数	53	64	70	74	74	74	68

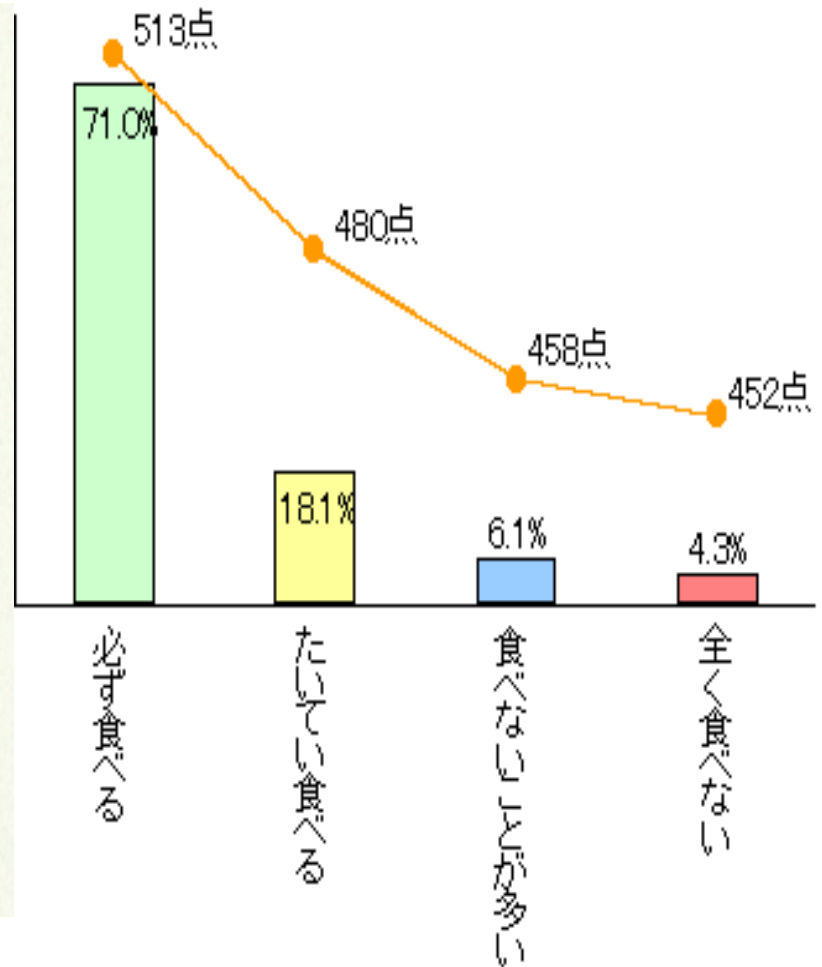
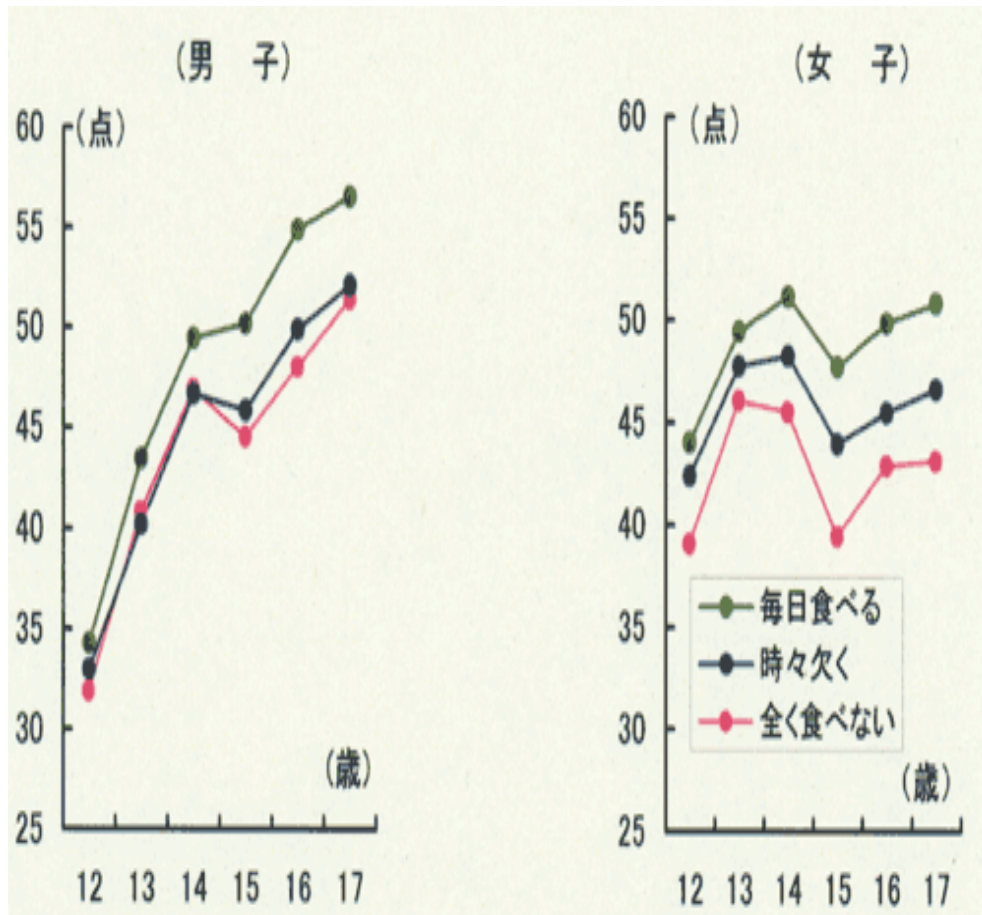
学力向上の鍵は栄養豊かな食事

(45点満点)

一食あたりの摂取食品数と学習成績および5教科 学力テスト偏差値



学力・体力伸ばす朝御飯



朝食と体力測定得点の相関関係 45万人学カテストと朝食の相関関係

子どもの生活を崩したものの

- 子どもの睡眠は、何に奪われたか
- ディスプレー依存症
テレビ、ゲーム、インターネット、携帯電話
1日2時間テレビをみると
全学習時間(708時間) < テレビ視聴時間(730時間)
- 慌ただしい生活による食生活の悪化
- 追い打ちをかけた新しい学力観
→ 努力の軽視、基礎の軽視、生活指導の軽視

土堂小学校の挑戦

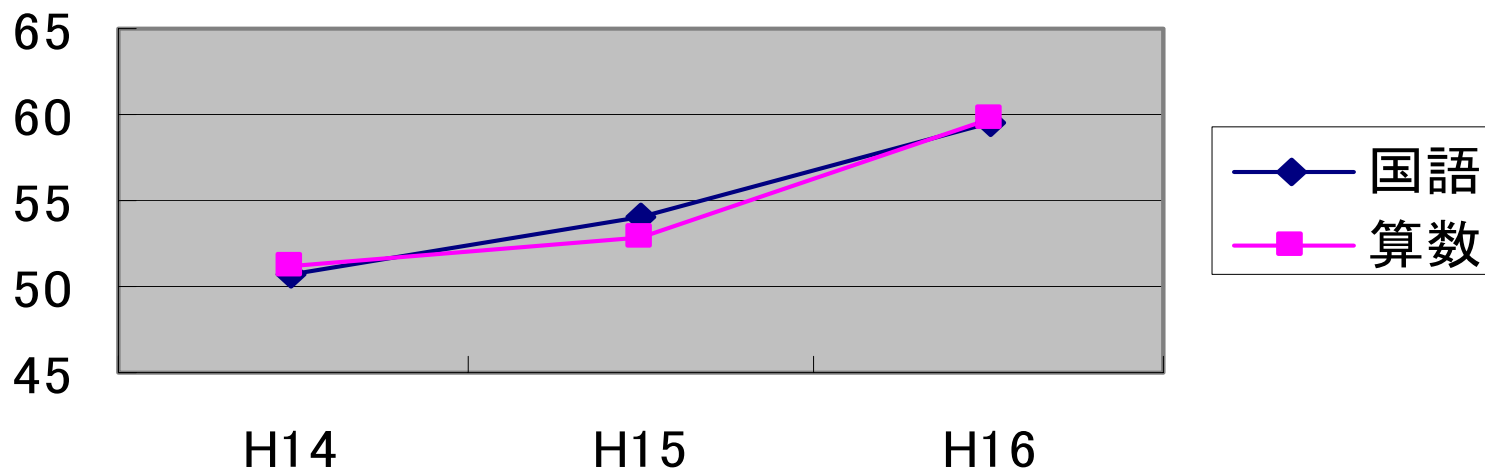
- 尾道市教育改革プラン21
- 土堂小学校はコミュニティスクール
- 地域学校協議会のミッションステートメント
- 校長公募
- 教職員の公募
- 学区の拡大による児童の募集
- 自由な教育内容の提案



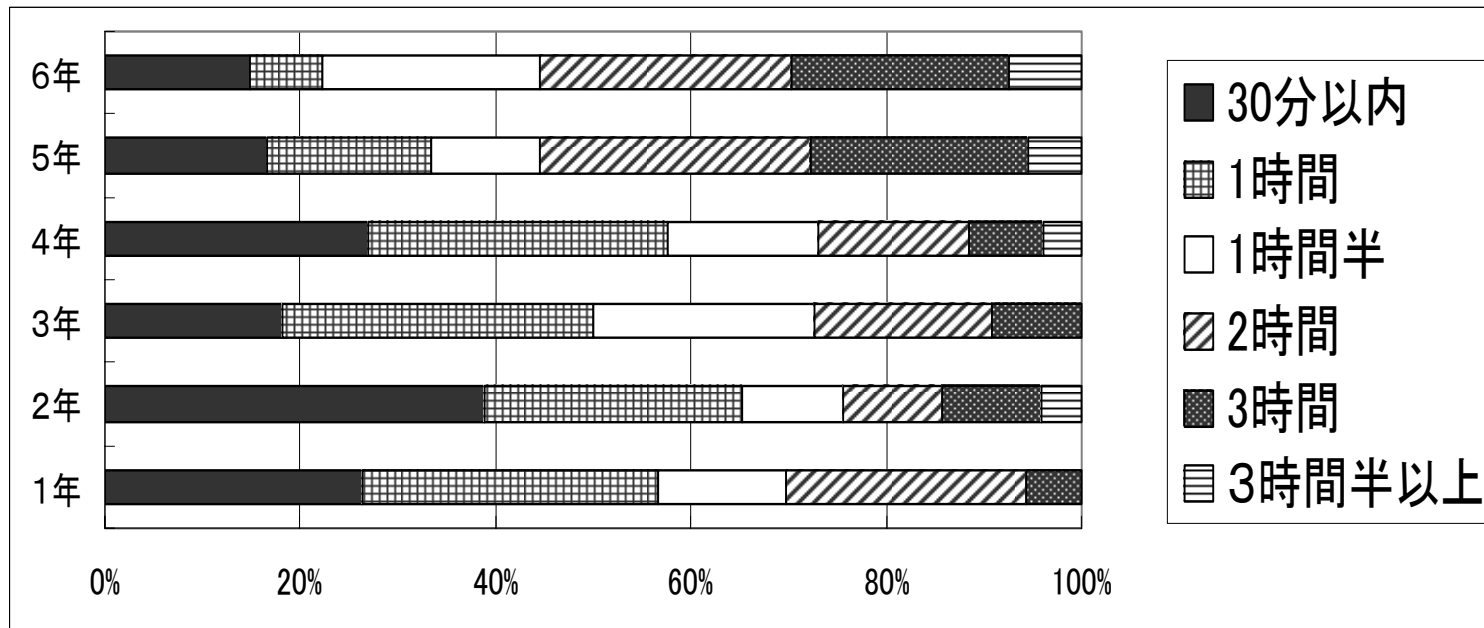
基礎学力向上は一年で十分

- 国語 学校平均偏差値 59、5 (昨年度53、9)
- 算数 学校平均偏差値 59、7 (昨年度52、9)
- 学区による偏りは、誤差範囲内で一切なし。
- 知能指数120以上 6年25% 1年42%

NRT偏差値の推移

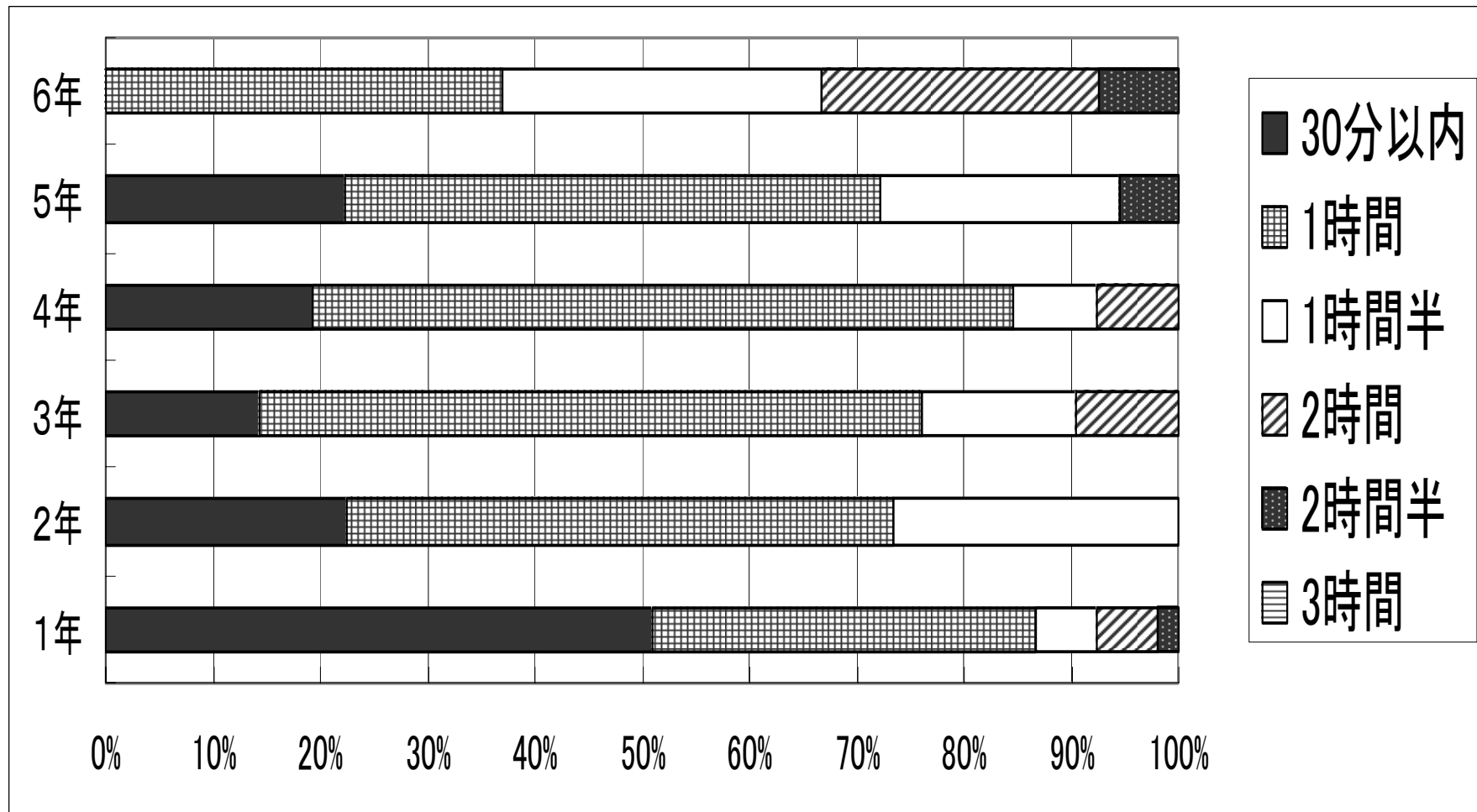


長くないテレビの視聴時間



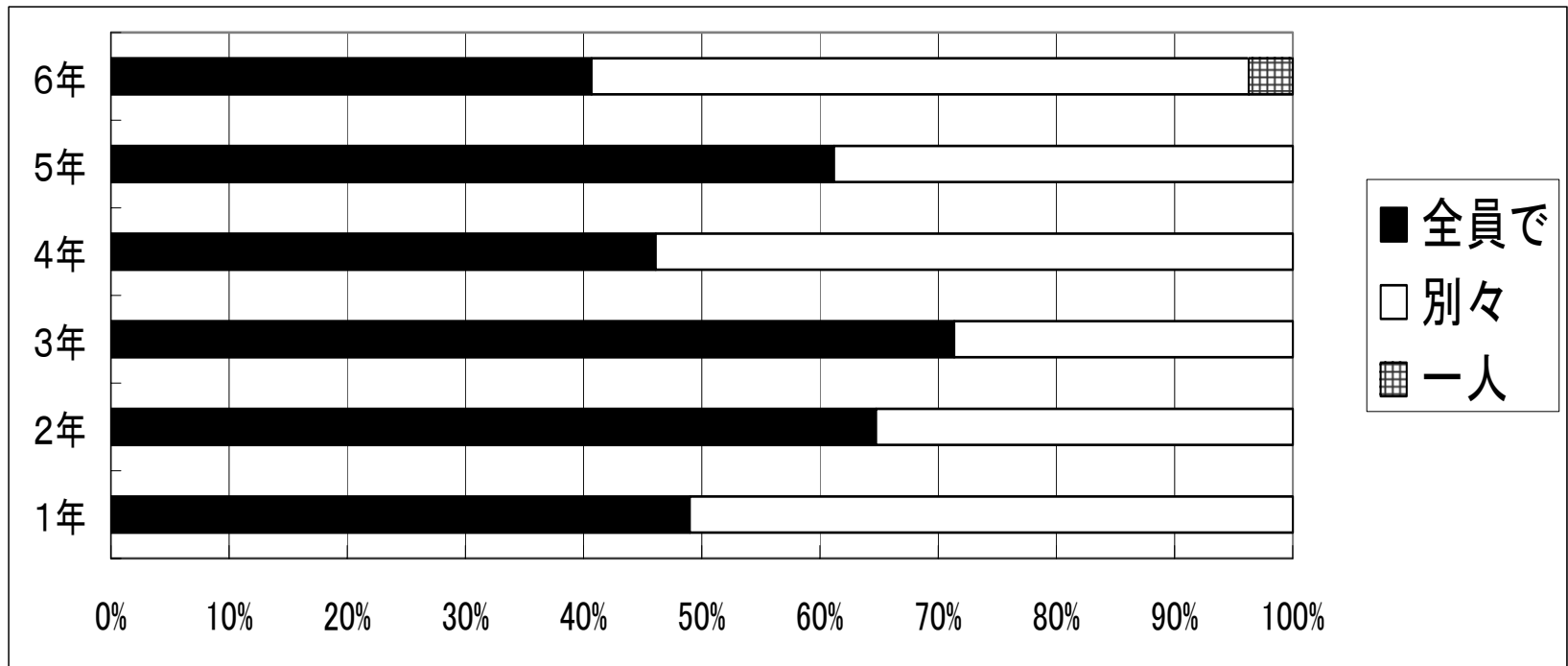
- テレビ視聴時間2時間以内
- 広島県小学校5年生 43、3%
- 土堂小学校5年生 72、4%

そんなに長くない学習時間

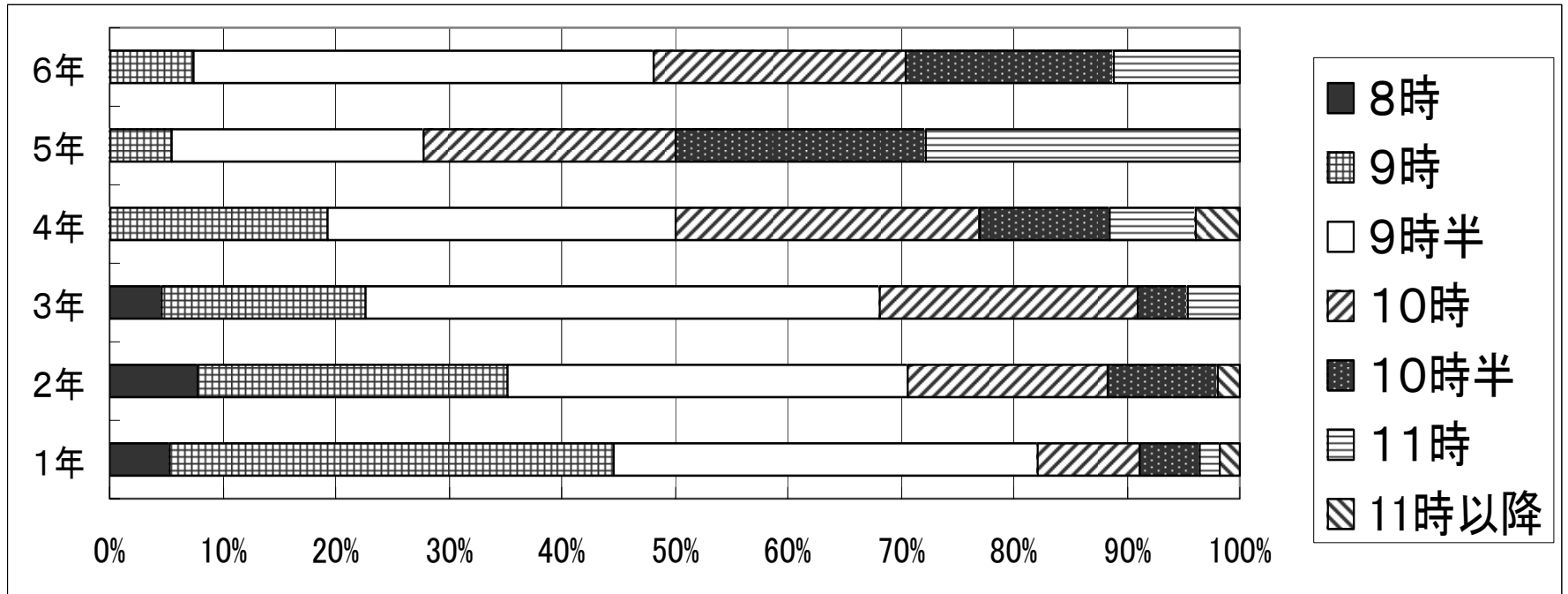


家族に对话がある

- 夕食は誰と食べていますか。



夜も早い



生きる力(生命力)の向上の 人間性への波及効果

- あいさつの声が大きくなる。
- 活発に遊ぶようになる。(体力の向上)
↓
- コミュニケーション能力の向上(精神力の向上)

5年生の体力測定結果(男子)

	握力	上体 起し	前屈	横跳 び	シャト ル	50m 走	幅跳 び	ソフト 投	得点
全国	18	19	33	41	48	9.3	153	26	54
土堂	20	22	35	47	48	9.2	184	28	65

土堂小方式のポイント

- 早起き、早寝、朝御飯
- ディスプレー依存症にしない
- 家族団欒
- 読み書き計算の徹底反復
- みんなで活動、からだ全部で活動
→朝を制するものがすべてを制する。
→子どもが元気、これがすべて。

なぜ、議論は迷走したか？

1. 事実認識システムの欠如
2. 批判から入る議論
3. 対症療法ばかりで根本が残る。
 - 地理は暗記教科→何ヶ国学習するか？
 - 読み書き計算の反復学習は罪悪か。
 - 夢のない職業→校長、教頭、教師
 - 生活習慣の問題が議論されない不思議。

教育をよくする方法

- 学力向上とは→子どもを元気にすること
- 教育改革とは→教師や校長を元気にすること。

- そのために必要なこと
 1. アウトプットをイメージして議論すること。
 2. 社会全体のシステムに注意すること。
 3. 事実に基づいた議論ができるシステムを作ること